

6月から治水対策施設の運用開始

国・県・市で金丸川・池町川流域の浸水被害を軽減



地下調節池(けやき通り)



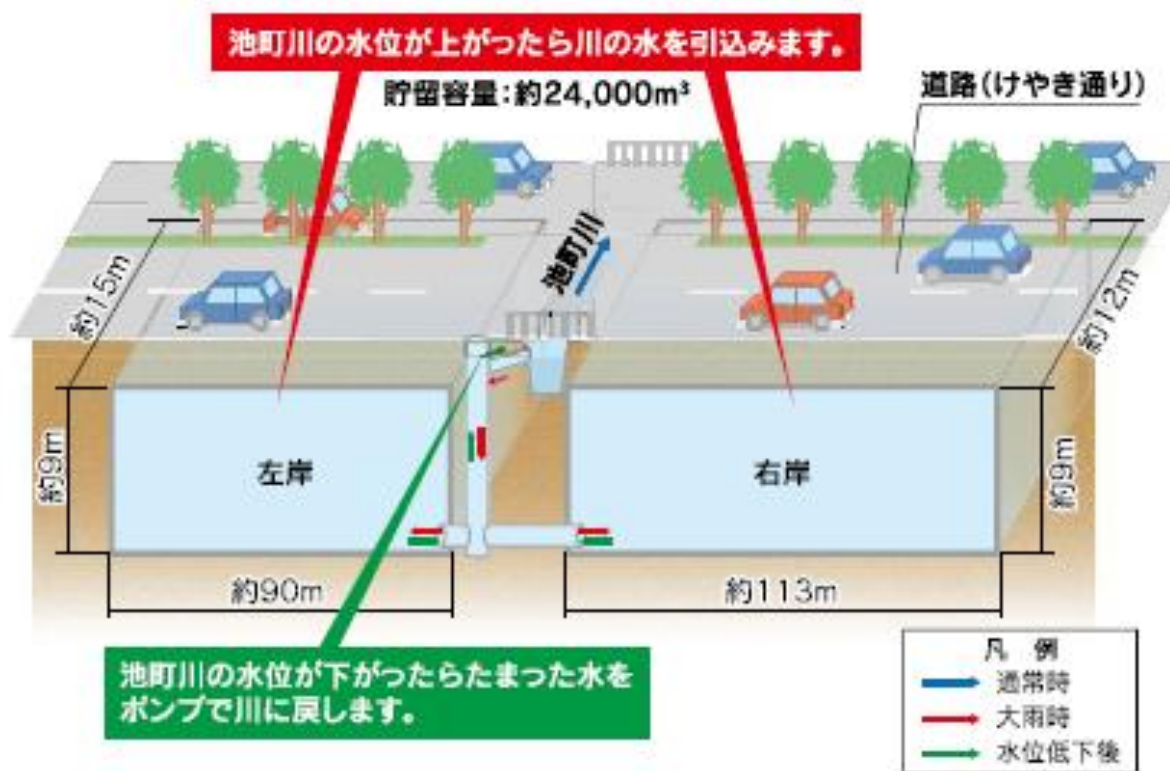
池町川地下放水路



治水対策が進む

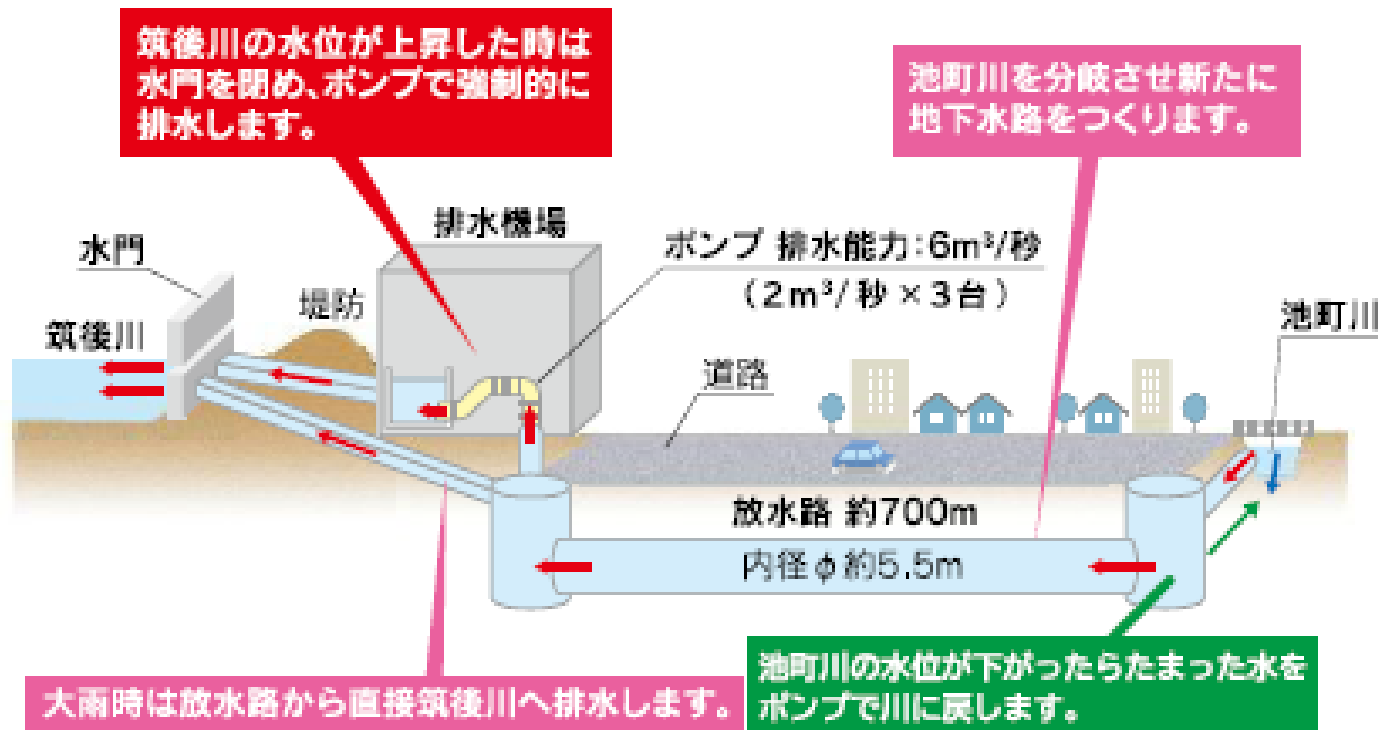
地下調節池(けやき通り)

貯留量 $24,000\text{m}^3 = 25\text{m}$ プール約80杯分



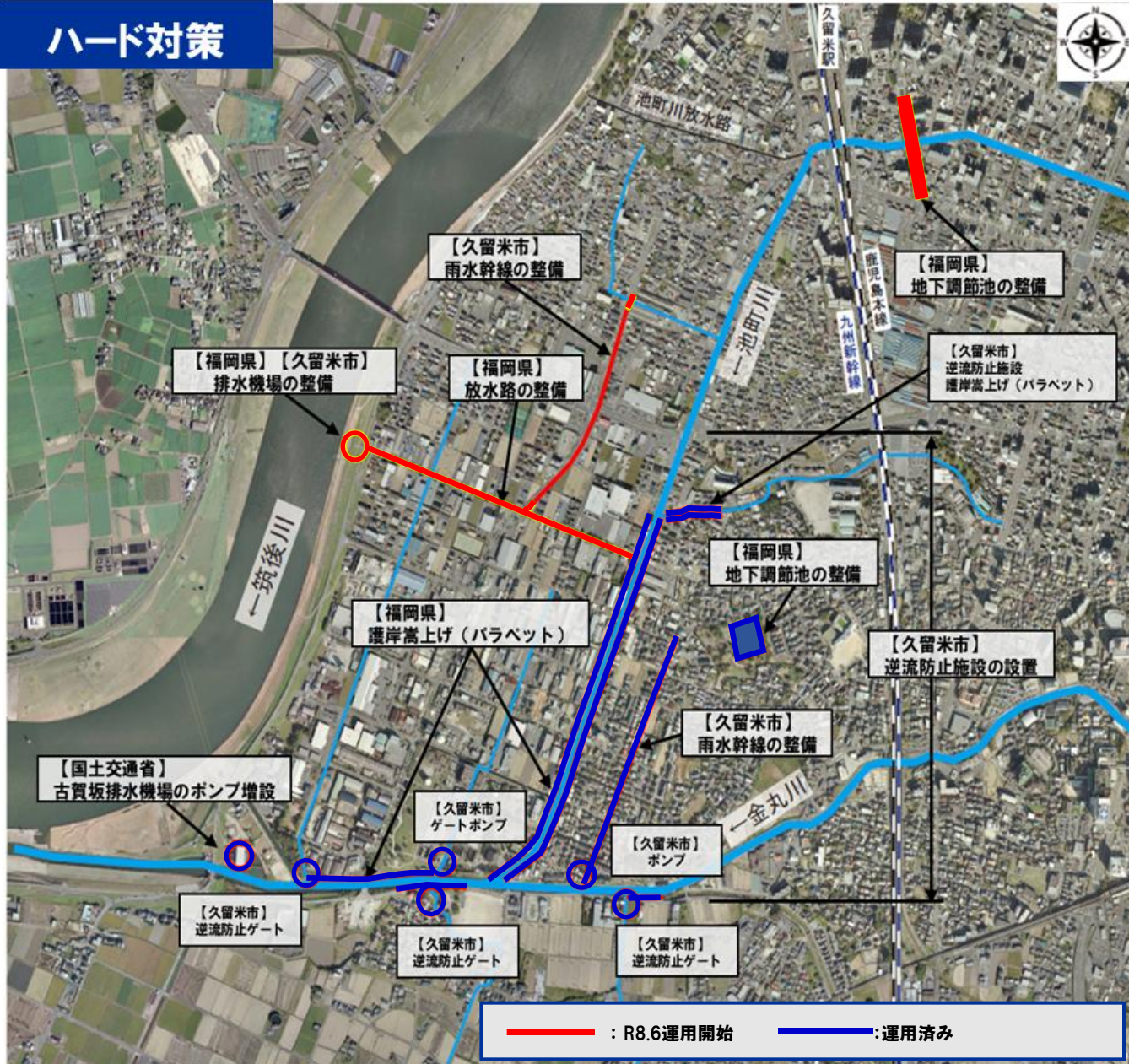
池町川地下放水路

ポンプ排水能力 $6\text{m}^3/\text{秒}$ = 25mプールを約1分で排水

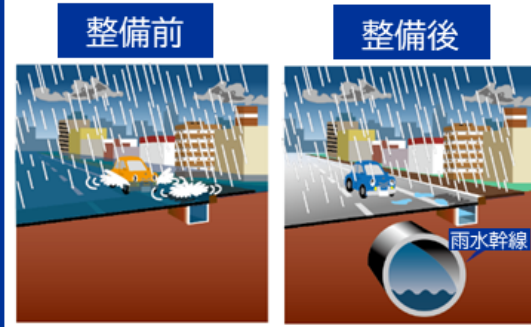


金丸川・池町川総合内水対策計画の整備完了

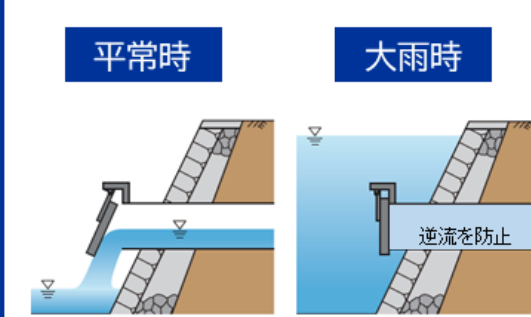
ハード対策



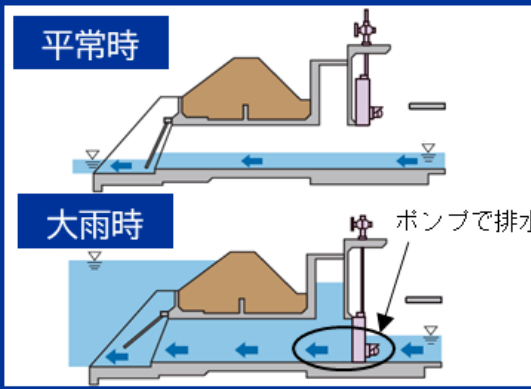
久留米市が実施した主なハード対策



【雨水幹線】
大雨時に水路や側溝で流しきれない雨水を集めて、河川へ排水し、水路等から雨水があふれるのを軽減します。



【フラップゲート(逆流防止扉)】
平常時は、水の流れて扉が開き、河川へ排水します。
大雨時に河川の水位が上昇すると、扉が閉まり、河川からの逆流を防止します。

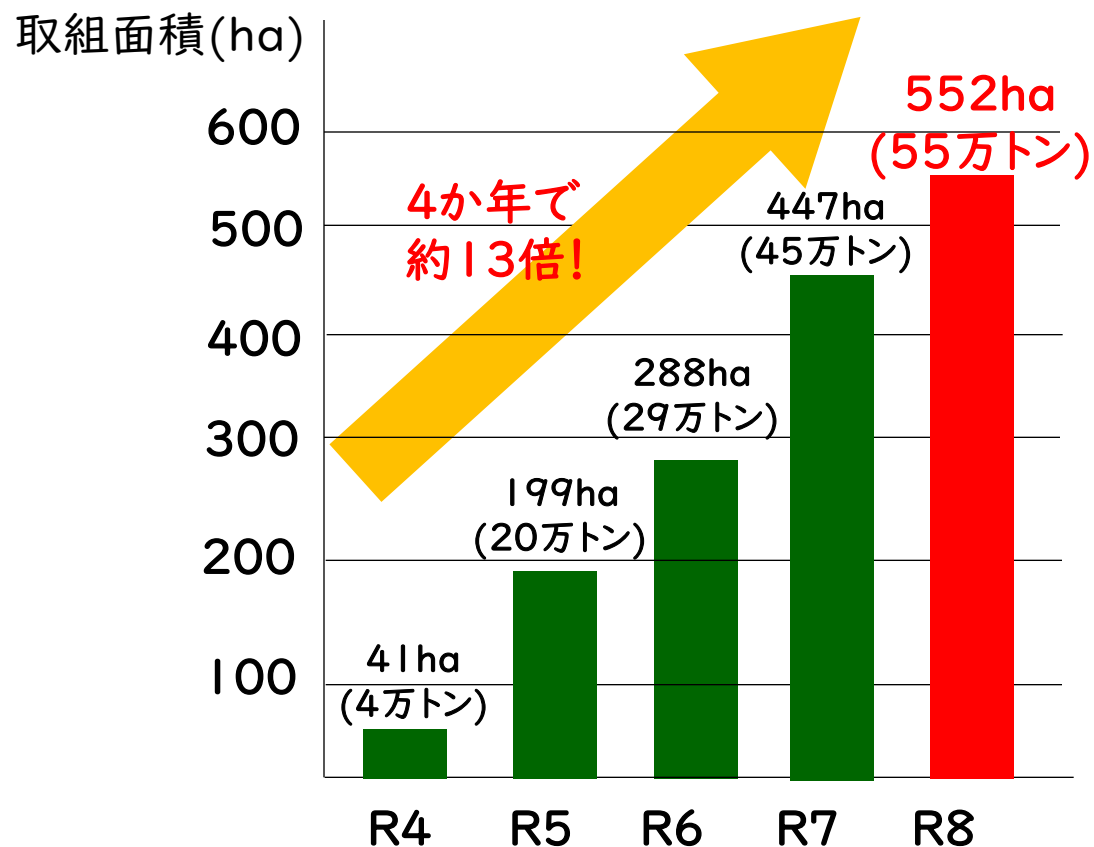


【ゲートポンプ(ポンプ付水門)】
大雨時に自然な排水が困難な場合、水門に設置している排水ポンプで、強制的に排水します。

— : R8.6運用開始 — : 運用済み

令和8年度取組予定

貯水量55万トン = 25mプール約**1,200**杯分



2700人が力を合わせ水害対策

【取組実績（見込み含む）】

- ▶ 総参加者数 2,700人
- ▶ 実施箇所数 21ヵ所

- ・しゅんせつ 3,600m区間
- ・除草 8t
- ・土のう 6,900袋



5/23宮ノ陣エリアの様子